


条	筑北小学校	新筑北小学校【12/18現在の案】	条	坂井小学校
1	名称および事務局 この会は、「筑北村立筑北小学校PTA」とい い、事務局を筑北小学校に置く	第1条 名称および事務局 この会は、筑北村立筑北小学校保護者と先生 の会（略称 筑北小学校PTA）と言う。 この会の事務局は、筑北村立筑北小学校におく。	1 2	第一章 名称及び事務所 この会は、筑北村立坂井小学校 父母と先生の会 （略 称 坂井小学校PTA）と言う。 この会の事務所は、筑北村立坂井小学校におく。
2	目的 この会は、会員の相互協力によって、筑北小学 校の教育を振興し、児童の福祉増進と教育環境 の改善を図るとともに、会員の教養を高め、会 員相互の親睦を深めることを目的とする。	第2条 目的 この会は、会員の相互協力によって、筑北小 学校の教育を振興し、児童の福祉増進と教育環 境の改善を図るとともに、会員の教養を高め、 会員相互の親睦を深めることを目的とする。	3	第二章 目的及び事業 この会は、父母と教師の親和と努力とによって家 庭と学校と社会における教育に関し理解を深め、 その教育の振興につとめ、更に児童の校外におけ る生活指導地域における教育環境の改善充実をは かり、 児童の幸福な成長をはかること を目的とす る。
3	事業 この会は、第2条の目的を達成するため、次の 事業を行う。 (1) 学校と家庭並びに地域との連携に関する 事業 (2) 学校の施設整備の充実並びに環境の整備 美化に関する事業 (3) 児童の生活指導、校外安全指導に関する 事業 (4) 会員相互の修養並びに親睦に関する事業 (5) 学校給食並び児童の保健厚生に関する 事業 (6) その他、目的を達成するために必要な 事業	第3条 事業 この会は、第2条の目的を達成するため、次 の事業を行う。 (1) 学校と家庭並びに地域との連携に関する 事業 (2) 学校の施設整備の充実並びに環境の整備 美化に関する事業 (3) 児童の生活指導、校外安全指導に関する 事業 (4) 会員相互の修養並びに親睦に関する事業 (5) 学校給食並び児童の保健厚生に関する事 業 (6) その他、目的を達成するために必要な事 業	4	この会の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 家庭教育の研究に関する事項 (2) 児童の生活指導、校外安全指導に関する事項 (3) 児童の保健衛生に関する事項 (4) 会員の修業研究及び 視察 に関する事項 (5) 給食及び学校施設に関する事項 (6) 父母と教師の緊密な連絡と親睦に関する事項 (7) その他教育上必要な事項 ※坂井小会則中のゴシック体は、筑北小会則に 対して坂井独自の内容や表現の部分を示す。
4	会員 この会の会員は、次のとおりとする。 (1) 筑北小学校に在籍する児童の保護者又は これに代わる者。 (2) 筑北小学校に勤務する学校職員	第4条 会員 この会の会員は、次のとおりとする。 (1) 筑北小学校に在籍する児童の保護者又は これに代わる者。 (2) 筑北小学校に勤務する学校職員	5	第三章 会員 この会は、坂井小学校児童の父母又はこれに代わ る者及び学校職員を会員とする。


<p>5 6</p>	<p>単位PTA役員 この会には、次の役員を置く。</p> <p>(1) 会 長 1名 (2) 副 会 長 3名 (3) 事 務 幹 事 2名以上 (4) 会 計 幹 事 1名 以上本部役員 (5) 会 計 監 査 員 2名 (6) 学年会長 (7) 学年副会長（文化厚生部） (8) 支部長</p> <p>単位PTA以外の外部団体役員 単位PTA以外の外部団体より要請があった場合、役員を置く。</p> <p>役員選出方法 役員は、次の方法によって選出する。</p> <p>(1) 会長は、新6学年保護者の中から互選とする。 (2) 副会長のうち2名は、新6学年及び新5学年の保護者の中からそれぞれ1名を互選し、残りの1名は学校長とする。なお、学校長を除く副会長2名は、男女各1名ずつとする。 (3) 事務幹事・会計幹事は、学校職員があたる。 (4) 会計監査員は、前年度の会長又は副会長の中から2名選出する。 (5) 学年会長・学年副会長は、学年保護者の中から互選とする。 (6) 支部長は、支部内の保護者の中から互選とする。 (7) 外部団体役員は、保護者の中から互選とする。</p>	<p>第5条 単位PTA役員 この会には、次の役員を置く。</p> <p>(1) 会 長 1名 (2) 副 会 長 3名 (3) 事 務 幹 事 2名以上 (4) 会 計 幹 事 1名 以上本部役員 (5) 会 計 監 査 員 2名 (6) 学年会長 (7) 学年副会長（文化厚生部） (8) 支部長</p> <p>第6条 単位PTA以外の外部団体役員 単位PTA以外の外部団体より要請があった場合、役員を置く。</p> <p>役員選出方法 役員は、次の方法によって選出する。</p> <p>(1) 会長は、新6学年保護者の中から互選とする。 (2) 副会長のうち2名は、新6学年及び新5学年の保護者の中からそれぞれ1名を互選し、残りの1名は学校長とする。なお、学校長を除く副会長2名は、男女各1名ずつとする。 (3) 事務幹事・会計幹事は、学校職員があたる。 (4) 会計監査員は、前年度の会長又は副会長の中から2名選出する。 (5) 学年会長・学年副会長は、学年保護者の中から互選とする。 (6) 支部長は、支部内の保護者の中から互選とする。 (7) 外部団体役員は、保護者の中から互選とする。</p>	<p>第四章 役職員 この会には、次の役職員を置き、次の方法で選出する。</p> <p>会長 1名 総会にて承認を受ける。年度末評議員会において選出し、内定を受ける。 副会長 若干名 会長選出と同じ。但し内1名は学校長とする。副会長1名は坂井小学校単位PTA子育て委員長を兼ねる。 評議員 若干名 評議員の選出は新年度当初の評議員会までに選出する。</p> <p>(1) 各部会の部長・副部長 (2) 学年会長 (3) ブロック長（=支部長，基本は地区1人） (4) 学校職員より若干名 学校長が選出する。 学年会長 各学年より選出する。（会長1名・副会長1名） 会計監査員 2名 前年度役員より会長が推薦し、新年度当初の評議員会にて承認を受ける。 幹事 若干名 学校職員より選出し、新年度当初の評議員会にて承認を受ける。 書記 1名 学校職員より学校長が推薦し、会長が委嘱する。</p>
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7	<p>任務</p> <p>役員の仕事は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 会長は、この会を代表し、会務を統括する。</p> <p>(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合はその職務を代行する。</p> <p>(3) 事務幹事は、この会運営の事務を統括する。</p> <p>(4) 会計幹事は、この会の経費の出納事務を行う。</p> <p>(5) 会計監査員は、この会の会計の監査を行う。</p> <p>(6) 学年会長は、各学年を総括する。</p> <p>(7) 学年副会長は、学年会長を補佐し、会長に事故ある場合はその職務を代行する。</p> <p>(8) 支部長は、各支部を代表し統括する。</p> <p>(9) 外部団体役員は、その団体の業務推進に協力し、必要に応じ筑北小の諸会議に参加する。</p>	<p>第7条 任務</p> <p>役員の仕事は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 会長は、この会を代表し、会務を統括する。</p> <p>(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合はその職務を代行する。</p> <p>(3) 事務幹事は、この会運営の事務を統括する。(幹事の扱いは学校関係者で検討)</p> <p>(4) 会計幹事は、この会の経費の出納事務を行う。(幹事の扱いは学校関係者で検討)</p> <p>(5) 会計監査員は、この会の会計の監査を行う。</p> <p>(6) 学年会長は、各学年を総括する。</p> <p>(7) 学年副会長は、学年会長を補佐し、会長に事故ある場合はその職務を代行する。</p> <p>(8) 支部長は、各支部を代表し統括する。</p> <p>(9) 外部団体役員は、その団体の業務推進に協力し、必要に応じ筑北小の諸会議に参加する。</p>	7	<p>役職員の仕事は次の通りとする。</p> <p>(1) 会長は、本会を代表しいっさいの会務を総理する。</p> <p>(2) 副会長は、会長を補佐し会長事故ある時はその代理をする。</p> <p>(3) 評議員は予算決算の審議及びその他の会務を評議決定する。</p> <p>(4) 学年会長は、担任教師と連絡を密にし、学年内の児童の生活指導について協力すると共に必要に応じ学年間の連絡調整をはかる。</p> <p>(5) 会計監査員は、会計の監査を行う。</p> <p>(6) 幹事は、会長の諮問に応じ会計庶務を分掌する。なお評議員となり運営に携わる。</p> <p>(7) 書記は、幹事を補佐し会計事務をつかさどる。</p>
8	<p>任期</p> <p>(1) 役員の仕事は1年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(2) 補欠によって選出された役員は、前任者の残任期間とする。</p>	<p>第8条 任期</p> <p>(1) 役員の仕事は1年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(2) 補欠によって選出された役員は、前任者の残任期間とする。</p>	8	<p>役職員の任期は次の通りとする。</p> <p>(1) この会の役職員の任期は1年とする。但し重任を妨げない。しかし同一役職について連続2年を越えてはならない。(学校職員についてはこの限りではない)</p> <p>(2) 前項の「同一職員については、連続2年を越えてはならない」については、特別緊急でやむ終えない事情と認める場合、正・副会長に限り引き続き1年その任に当たる事が出来る。</p> <p>(3) 役職員に欠損を生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。</p>

9	機関及び専門部 第4条の事業を行うために、次の機関と専門部を置く。 (1) 総会・評議員会・本部役員会 (2) 学年部・文化厚生部・支部長部、その他業務執行上必要と認められる部	第9条 機関及び専門部 第3条の事業を行うために、次の機関と専門部を置く。 (1) 総会・評議員会・本部役員会 (2) 学年部・文化厚生部・支部長部、その他業務執行上必要と認められる部	9 <p style="text-align: center;">第五章 会議</p> この会で行う会議は、次の通りとする。 (1) 総会・評議員会・三役員会 (2) 部会・その他必要に応じた会議
10	総会 総会について以下のように定める。 (1) 総会は、この会の最高議決機関と位置付ける。 (2) 総会は、定期総会及び臨時総会とし、会長が召集する。 (3) 定期総会は、毎年年度初めに1回行う。 (4) 臨時総会は、必要に応じ開くことができる。 (5) 総会は、会長が議長となり、次に掲げる事項を審議し、議決する。 ①事業計画、事業報告に関する事項 ②予算、決算に関する事項 ③会費に関する事項 ④会則の制定及び改廃に関する事項 ⑤役員を選任及び解任に関する事項 ⑥その他、会員が必要と認める事項 (6) 総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。ただし、委任状を提出した会員は、出席者とみなすものとする。 (7) 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決すところによる。	第10条 総会 総会について以下のように定める。 (1) 総会は、この会の最高議決機関と位置付ける。 (2) 総会は、定期総会及び臨時総会とし、会長が召集する。 (3) 定期総会は、毎年年度初めに1回行う。 (4) 臨時総会は、必要に応じ開くことができる。 (5) 総会の議長は出席会員中より選出し、次に掲げる事項を審議し、議決する。 ①会則の制定及び変更に関する事項 ②事業計画・予算及び決算の承認に関する事項 ③会長・副会長の選出・承認に関する事項 ④会費に関する事項 ⑤その他総会に付す事を認めた事項 (6) 総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。ただし、委任状を提出した会員は、出席者とみなすものとする。 (7) 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決すところによる。	10 総会 1 総会は、この会の最高議決機関で、定期総会と臨時総会に分ける。定期総会は、毎年年度初めに一回開く。臨時総会は、必要に応じて開く。 2 総会は、会長がこれを召集し、 議長は出席会員中より選出する。 3 総会においては、次の事項を議決する。 (1) 会則の制定及び変更に関する事項 (2) 事業計画・予算及び決算の承認に関する事項 (3) 会長・副会長の選出・承認に関する事項 (4) その他総会に付す事を認めた事項

11	<p>評議員会 評議員会について以下のように定める。</p> <p>(1) 評議員会は、総会に次ぐ重要な会議と位置付け、必要に応じて開催する。</p> <p>(2) 評議員会は、会長・副会長・事務幹事・会計幹事・各学年会長・正副文化厚生部長・正副支部長で構成し、会長が召集する。</p> <p>(3) 評議員会は、会長が議長となり、次に掲げる事項を審議し、決定する。</p> <p>①総会に付すべき事項 ②本部役員会、各部、学校等より提出された重要事項 ③諸規定の変更に関わる事項 ④その他、役員が必要と認める事項</p> <p>(4) 評議員会は、評議員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席した評議員の過半数の同意により決定する。</p>	<p>第 11 条 評議員会 評議員会について以下のように定める。</p> <p>(1) 評議員会は、総会に次ぐ重要な会議と位置付け、必要に応じて開催する。</p> <p>(2) 評議員会は、会長・副会長・事務幹事・会計幹事・各学年会長・正副文化厚生部長・正副支部長で構成し、会長が召集する。</p> <p>(3) 評議員会は、会長が議長となり、次に掲げる事項を審議し、決定する。</p> <p>①総会に付すべき事項 ②本部役員会、各部、学校等より提出された重要事項 ③諸規程の変更に関わる事項 ④その他、役員が必要と認める事項</p> <p>(4) 評議員会は、評議員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席した評議員の過半数の同意により決定する。</p>	11	<p>評議員会</p> <p>1 会長・副会長・評議員をもって構成し、会長が召集する。</p> <p>2 評議員会は、総会に次ぐ重要な会であり、必要に応じて開催し、次の事項を審議決定する。</p> <p>(1) 部会の計画その他総会に提出する議案の審議調整</p> <p>(2) 部会・学年間・地区間の問題の相互連絡調整</p> <p>(3) 会長・副会長の選出・内定および幹事・会計監査員の承認</p> <p>(4) 会長・副会長・幹事・会計監査員の欠損を生じた場合の補充</p> <p>(5) その他必要事項の審議決定</p>
12	<p>本部役員会 本部役員会について以下のように定める。</p> <p>(1) 本部役員会は、会長、副会長、事務幹事 会計幹事をもって構成し、適宜、会長が召集する。</p> <p>(2) この会の運営・事業の企画などを審議・決定し、会長の諮問に答える。</p> <p>(3) この会の業務の執行と緊急事項の処理にあたる。</p> <p>(4) 歓送迎会を企画・運営する。</p>	<p>第 12 条 本部役員会 本部役員会について以下のように定める。</p> <p>(1) 本部役員会は、会長、副会長、事務幹事 会計幹事をもって構成し、適宜、会長が召集する。</p> <p>(2) この会の運営・事業の企画などを審議・決定し、会長の諮問に答える。</p> <p>(3) この会の業務の執行と緊急事項の処理にあたる。</p>	12	<p>三役員会</p> <p>1 会長・副会長・幹事をもって構成し会長が召集する。</p> <p>2 この会の運営・事業の企画等を審議決定し会長の諮問に答える。</p> <p>3 この会の業務の執行と緊急事項の処理に当たる。</p>

<p>13</p> <p>14</p> <p>15</p>	<p>学年部</p> <p>学年部について以下のように定める。</p> <p>(1) 学年部は、学年単位の会員をもって構成する。</p> <p>(2) 学年部長は、6 学年の会長、副部長は5 学年の会長が兼任する。</p> <p>(3) 学年部会は、学年部長が召集し、次の業務を行う。</p> <p>①学年 P T A の運営に関する事項</p> <p>②学校保健委員会・救急救命法講習会など学校保健や児童の安全に関する事項</p> <p>③家庭・学校と地域社会との連携に関する事項</p> <p>文化厚生部</p> <p>文化厚生部について以下のように定める。</p> <p>(1) 文化厚生部は、各学年部副会長をもって構成する。</p> <p>(2) 文化厚生部長は、6 学年の副会長、副部長は5 学年の副会長が兼任する。</p> <p>(3) 文化厚生部会は、文化厚生部長が召集し、次の業務を行う。</p> <p>①会員相互の親睦に関する事項</p> <p>②会報の発行に関する事項</p> <p>③会員の福利厚生に関する事項</p> <p>④会員の研修会・講演会などに関する事項</p> <p>支部長部</p> <p>支部長部について以下のように定める。</p> <p>(1) 支部長部会は、両地区支部より選出された6名の支部長をもって構成する。</p> <p>なお、支部は次のとおりとする。(支部の地区割の変更は、評議員会で審議し決定する。)</p>	<p>※検討中</p> 	<p>13</p> <p>部 会</p> <p>1 学年正副会長・ブロック長により構成し、学年部・教養部・校外指導部の3部会を組織し事業を行う。各部会は部長が招集する。(新年度当初のみ会長が招集する。)(評議員会・三役員会への提案事項がある場合、必要に応じ正副会長の出席を要請する。)</p> <p>2 部会の構成については、会長があらかじめ原案を作成し、新年度評議員会の承認を得て決定する。</p> <p>3 部長・副部長は、各部会の互選とし、新年度評議員会の承認を得る。</p> <p>4 部会の構成</p> <p>(1) 学年部会 学年会長6人により構成し、学年 P T A の運営・学年間の連絡調整。 児童の学校給食・保健衛生・会員相互の親睦に関する事項。</p> <p>(2) 教養部会 学年副会長により構成し、会員相互の教養・研修・視察などの企画・会報の発行に関する事項。</p> <p>(3) 校外指導部会 ブロック長で構成し、地区児童の生活指導、校外安全指導など、児童の健全育成にあたる。学校施設並びに環境整美の充実に関する事項。</p>
-------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>【本 城】 本城1〈乱橋、小仁熊、丸山町〉 本城2〈西条1、西条2・3・中、聖南町〉 本城3〈東条1～2〉</p> <p>【坂 北】 坂北1〈刈谷沢、中村、東山〉 坂北2〈向原、青柳、昭和町〉 坂北3〈別所、仁熊、竹場〉</p> <p>(2) 支部長部長及び副部長は、支部長部の互選によりそれぞれ1名を選出する。 (3) 支部長部会は、支部長部長が召集し、次の業務を行う。 ①児童会、地区行事、PTA会費集金に関すること ②筑北村青少年健全育成推進会議・安曇野学警連に関すること ③学校環境整備（PTA作業等）に関すること ④通学路・プール監視等児童の安全管理に関すること</p>		
<p>16 17 18</p>	<p>経費 この会の経費は、会費、寄付金その他の収入金をもってこれにあてる。</p> <p>会費 会費の徴収について以下のように定める。 (1) 会費は、一世帯（家庭）・学校職員を単位として徴収するものとする。 (2) 会費は年額を基本とする。負担額及び集金方法については評議員会で検討し、総会の議決を得る。 (3) 年度途中の転入・転出の場合の取り扱いについては次による。</p>	<p>第16条 経費 この会の経費は、会費、寄付金その他の収入金をもってこれにあてる。</p> <p>第17条 会費 会費の徴収について以下のように定める。 (1) 会費は、一世帯（家庭）・学校職員を単位として徴収するものとする。 (2) 会費は年額を基本とする。負担額及び集金方法については評議員会で検討し、総会の議決を得る。 (3) 年度途中の転入・転出の場合の取り扱いについては次による。</p>	<p style="text-align: center;">第六章 会 計</p> <p>14 この会の経費は、会費・寄附金その他の収入をもって当てる。 1 会費は、毎年総会において決定する。 2 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。 3 会計監査は、会計監査員が学年末にこれを行う。</p>

	<p>①年度途中で転入した場合は、徴収しない。 ②年度途中で転出しても、返金しない。 (4) 会計監査は、会計監査員が年度末にこれを行う。</p> <p>第 18 条 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。</p>	<p>①年度途中で転入した場合は、徴収しない。 ②年度途中で転出しても、返金しない。 (4) 会計監査は、会計監査員が年度末にこれを行う。</p> <p>第 18 条 会計年度 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。</p>	
19 20 21 22	<p>附 則 第 19 条 本会の会則の変更は、総会の議決によらなければならない。 第 20 条 慶弔については、別に定める。(『筑北小学校 P T A 慶弔規定』) 第 21 条 旅費規程については、別に定める。(『筑北小学校 P T A 旅費規程』) 第 22 条 表彰規程については、別に定める。(『筑北小学校 P T A 表彰規程』)</p> <p>附則 この会則は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。 平成 28 年 4 月 1 日から一部改正。</p>	<p>附 則 第 19 条 会長に欠損を生じた場合は、副会長が昇任する(会長以下、役職員についてもこれに準ずる)。評議員会・学年会の会合において、学年会長が事故ある時は学年副会長が代行するものとし、部会等の会合において、部長が事故ある時は副部長が代行する。 第 20 条 慶弔については、別に定める。(『筑北小学校 P T A 慶弔規定』) 第 21 条 旅費規程については、別に定める。(『筑北小学校 P T A 旅費規程』) ※第 22 条 表彰規程については削除方向(経過を確認し、必要ならば削除しない)</p> <p>附則 この会則は、2020(平成 32)年 4 月 1 日より施行する。</p>	<p>15 第七章 付 則 会長に欠損を生じた場合は、副会長が昇任する。(会長以下、役職員についてもこれに準ずる) 評議員会・学年会の会合において、学年会長が事故ある時は学年副会長が代行するものとし、部会等の会合において、部長が事故ある時は副部長が代行する。 16 慶弔については、別に定める。 17 旅費規定については、別に定める。</p> <p>付 則 第 1 条・第 2 条は合併により村名変更。 第 5 条 準会員廃止により 1 部削除。 第 13 条 改正新規規定は平成 18 年 4 月 15 日より施行する。 第 6 条 改正新規規定は平成 20 年 4 月 18 日より施行する。 第 17 条 新規規定は平成 23 年 4 月 1 日より施行する。 第 6 条 改正新規規定は平成 24 年 4 月 1 日より施行する。 第 6 条 改正新規規定は平成 25 年 4 月 19 日より施行する。 第 13 条 改正新規規定は平成 27 年 2 月 25 日より施行する。</p>

